

岐阜県生活技術研究所は、
快適な生活空間の創出と地域産業振興のために、
新材料・新製品の研究と技術支援を行っています。

- 研究成果の展示
- 研究所施設の見学
- 「木材加工基礎」研修 開催のお知らせ
- 研究助成金事業 採択のお知らせ

研究成果の展示 | 『飛騨の家具®フェスティバル』に出展しました

10月21日（土）から25日（水）にかけ高山市内の会場で開催された「2023飛騨の家具®フェスティバル」に開設した当所ブースにて、研究所を紹介、研究成果を展示しました。ブースに足を運ばれた方々からは、研究成果のさらなる発展を期待するご意見をいただきました。また、フェスティバル開催期間中、フェスティバル来場者の方に研究所の公開を行い、大勢の人が研究所を見学されました。



「飛騨の家具®フェスティバル」は協同組合飛騨木工連合会が主催し、当所の支援する県内木工企業が多数出展される展示会イベントです。出展各社では天然の個性ある木材を使い、その個性を楽しみながら、それぞれの個性ある木製品・家具が作られています。フェスティバルでは人の暮らしを豊かにする各社個性ある新製品が出展されました。

協同組合飛騨木工連合会では、飛騨の家具ブランド価値を守り向上するため、「飛騨の家具」「飛騨・高山の家具」の地域団体商標登録を取得しています。岐阜県及び当所は「飛騨の家具」認証のための技術支援を推進しています。

研究所施設の見学 | 研修、施設見学など随時受け付けしております

10月2日（月）に木工芸術スクールの生徒28名が当所を訪問されました。生徒さんに研究所で現在取り組んでいる研究や技術支援業務について紹介し、施設を見学していただきました。また、木材や家具の強度試験や体形に合った椅子の座り心地など体験していただきました。



「木材加工基礎」研修 開催のお知らせ | 多数のご応募お待ちしております

令和5年度次世代企業技術者育成事業 専門技術研修 木材加工基礎課程を「カーボンニュートラルに向けた木材利用のメリット、その科学的根拠」研修テーマに開催します。

この研修では、公共建築物の木質化、都市の木造化が温室効果ガスの排出削減に貢献すると考えられている中で、科学的データからみた木材利用のメリットについて、それらの根拠となる木材の性質を学びます。また、ライフサイクル・アセスメントや森林整備につなげる仕組みづくりなど、環境保全への取組みについて理解を深めます。



昨年度の研修の様子

開催の概要

研修日時：第1回令和5年12月12日（火） 14:00～16:10（開講式含む）

第2回令和5年12月15日（金） 14:00～16:00

第3回令和5年12月22日（金） 13:30～14:45（修了式含む）

研修場所：岐阜県生活技術研究所3階研修室（オンラインでの参加もできます）

研修内容：第1回『木づかいで地球も人も健康に～データで見る木材利用のメリット～』

講師：東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 恒次 祐子氏

第2回『木材の利用から考えるライフサイクル・アセスメント（LCA）』

講師：三重大学大学院生物資源学研究科 教授 中井 毅尚氏

第3回『岐阜県独自の森林由来クレジット制度「G-クレジット制度」の創設について』

講師：岐阜県林政部森林活用推進課 森林吸収源対策室長 伊藤 公博氏

全回出席された方には修了後、修了証書を交付します。

募集対象及び定員：岐阜県内の事業者、中小企業者及びその従業員の方 20名

受講費用：1名につき2,500円（教材費を含む）

申込み方法

申込フォーム URL：<https://logoform.jp/form/T8mB/410662>

または 右の二次元バーコードから申込フォームに接続して、必要事項を入力の上、お申込ください。

メール、FAXによる申込みも可能です。詳しくは、当所HP内で別途案内する「受講者募集のご案内」をご確認ください。

【申込み締切】 11月22日（水）

※申込後のキャンセルは承りかねます。日程等十分にご確認ください。



申込はこちらから

研究助成金事業 採択のお知らせ | 研究事業の推進に活用します

三井勝也主任専門研究員及び石原智佳専門研究員の研究テーマが、それぞれ公益財団法人遠藤斉治朗記念科学技術振興財団及び一般財団法人越山科学技術振興財団の研究助成金事業に採択されました。

公益財団法人遠藤斉治朗記念科学技術振興財団 研究助成

研究テーマ：木材・木質材料の吸放湿特性のデータベースの作成

一般財団法人越山科学技術振興財団 研究助成

研究テーマ：木材内部の水分存在状態が力学的性質に及ぼす影響



遠藤斉治朗記念科学技術振興財団
研究助成金事業に採択された研究者